

# 関東の森林から




国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25  
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>



「平成28年度 磐城森林管理署 列状間伐現地検討会」

(撮影者：磐城森林管理署)

- 平成28年度国有林間伐コンクールの受賞者が決定      資源活用課      . . . . . 2
- 平成28年度林業専用道現地検討会の実施                      森林整備課      . . . . . 3
- 高尾の森から    高尾森林ふれあい推進センター . . . . . 4
- 森づくり最前線  
    静岡森林管理署 上井出森林事務所 森林官 氏原 稔允      . . . . . 6

# 平成28年度国有林間伐コンクールの受賞者が決定

## 森林整備部 資源活用課

国有林間伐推進コンクールは、国有林野事業における間伐等の発注事業や立木販売において、優れた品質の森林整備を行うとともに、高い生産性等や作業システムの特徴や成果等の取り組みを競い、優秀な事例を決定しています。その事例を公表することにより、効率的かつ低コストな間伐等について民有林を含めた普及定着及び推進に資することを目的としています。

コンクールは

- ① 車両系搬出間伐部門（初回間伐）、
- ② 車両系搬出間伐部門（2回目以降）、
- ③ 車両系誘導伐等部門
- ④ 架線系搬出間伐部門
- ⑤ 架線系誘導伐部門
- ⑥ その他の6部門からなっています。

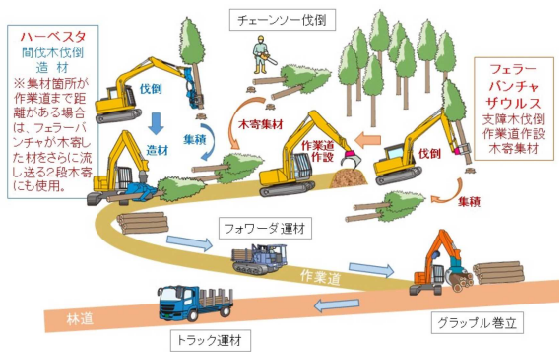
関東森林管理局では、南会津支管内の山星林業株式会社（福島県南会津町）の車両系搬出間伐部門（初回）の事例「フェラーバンチャウルスロボ導入による生産性の向上と安全作業の推進」を優秀な事例として林野庁に推薦し、関東森林管理局長による表彰を行いました。

### 山星林業株式会社の事例

フェラーバンチャウルスロボを導入することにより、作業道の支障木伐倒、集材、開設の工程を1台で実施し作業道開設作業を効率化されました。

また、この性能を活かし路網密度を高めることで他の高性能林業機械（主にハーベスタ）の稼働率を上げ、安全性（伐倒時のかかり木発生、接近作業の防止）と生産性の向上が図られました。

作業中の重機配置図



フェラーバンチャウルスロボによる作業道開設



フェラーバンチャウルスロボによる伐倒

平成28年度のコンクールは、各森林管理局から12の課題が推薦され、推薦された事例は学識経験者による審査を経て、林野庁長官表彰として最優秀賞1事例、優秀賞3事例が選ばれました。

最優秀事例は、車両系搬出間伐部門（初回）の近畿中国森林管理局が推薦した株式会社八木木材の事例「作業工程のオールマイティ化と低質材の搬出コスト縮減」で、事業の進捗状況に応じて、森林作業道作成、伐倒、木寄せ集材、集搬全ての工程の機械を操作できる作業員を適切、かつ流動的に配置することにより、ポトルネック（他工程と比較して作業効率の低い工程）を解消したものです。

優秀賞は、車両系搬出間伐部門（初回）の九州森林管理局が推薦した株式会社永田林業の事例「ロングリーチハーベスタの導入等による生産性の向上」、車両系誘導伐等部門の北海道森林管理局推薦の株式会社小玉「効率的な架線配置による架線・撤収経費の削減」、架線系搬出間伐部門の四国森林管理局推薦の株式会社とされいほく「効率的な架線配置による架線・撤収経費の縮減」となりました。

平成28年度林業専用道現地検討会の実施

森林整備部 森林整備課

今年度は

- 1 1月19日 群馬森林管理署の岩氷林業専用道で国有林野事業職員13名、民間事業者9名。

- 2 2月7日 茨城森林管理署熊ノ倉林業専用道で、国有林野事業職員27名、民間事業者13名。

- 3 2月14日 天竜森林管理署の瀬尻白倉林業専用道で、国有林野事業職員23名、民間事業者17名を対象に実施しました。

これらの中で、本格的な開設から5年たったことで見えてきた林業専用道整備をめぐる課題をはじめとして、工事支障木の取り扱いや、監督職員等と受注者との意思疎通などについて意見交換を行いました。

林業専用道を初めとした路網整備の推進は、林業の低コスト化、しいては国策である林業の成長産業化にとって重要であることから、これからも林業専用道の普及に努めていく考えです。

半径) 12 mを最小半径に設定して、曲線部の片勾配の省略を可能としました。

このため、国有林野事業の職員に加え、民間事業者の方々等も対象に、林業専用道の普及を図るため、平成26年度から、毎年数カ所を会場に林業専用道検討会を実施しています。

林業専用道は、従前規格の林道等とは規格・構造が異なります。

例えば、地形に追随した線形を確保することによる構造物の縮減等を図り、開設経費等の縮減を図るため、設計速度(道路の設計の基本となる速度)を15 kmとし、従来(設計速度20 km)では例外値であったR(曲線



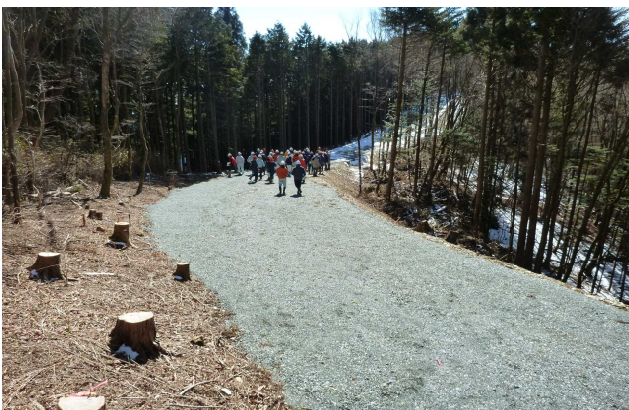
群馬署 (岩氷林業専用道)



群馬署 (岩氷林業専用道)



茨城署 (熊ノ倉林業専用道区)



天竜署 (瀬尻白倉林業専用道)



高尾森林ふれあい推進センターでは、「森林とふれあいたい」という市民の要請に応えるため、様々な活動を行っています。  
今回はその中で森林カレッジについてご紹介します。

**【森林カレッジ】**



カレッジⅠ 桜井先生



カレッジⅠ 森林散策

5月に、一般社団法人森林・自然環境技術者教育会会長の櫻井 尚武

**第1回目**

センターでは、森林の多面的機能や森林資源の循環利用の必要性等に対する理解を醸成するため、専門家の講義や森林内等での森林作業などを通じて、一般市民の皆様に森林環境教育講座「森林カレッジ」を毎年開校しています。  
今年度の森林カレッジの公募には51名の応募があり、厳選な抽選で選ばれた40名で開校しました。



カレッジⅡ 宮林先生

7月に、東京農業大学教授の宮林 茂幸先生による、人間社会は、自

**第2回目**

先生による、人工林の管理のあり方、里山資本主義といった多彩な切り口からの「森の見方」の講義と森林散策を行いました。  
講義終了後の、高尾山の森林散策ではポイントごとに講師からの解説を受け、参加者からは「新たな視点で森林を見ることが出来るようになった」との意見を多くいただきました。



カレッジⅡ 下刈作業

然から学び育むことで成長し、生きがいのある地域づくりへとつながっていくといった内容を、和やかな笑いに包まれた雰囲気の中での「森に学ぶ」の講義と下刈り作業を行いました。  
下刈り作業では、雨天のため当初予定していた防火帯の下刈りから林道の草刈りに変更となりましたが、「もっと草を刈りたかった」「鎌を研いだのは初めてだったが、とても勉強になった」と好評でした。

第3回目

9月に、元多摩森林科学園園長の三輪雄四郎先生による、樹木の基本的な知識から、細胞の構造といった専門的な分野まで幅広い「木の成長と仕組み」の講義と間伐作業を行いました。

間伐作業では、足場の悪い急傾斜地でのヒノキ人工林の伐採、枝払い、玉切り作業を行ってから林道まで運搬しました。「林業の大変さがわかった」「想像以上にきつい作業だった」と多くの感想をいただきました。



カレッジⅢ 三輪先生

第4回目

1月に、東京大学名誉教授の谷田貝光克先生による炭、木酢液、フィトンチッドについての「森の恵みと共に、炭焼き、そして木の香り」の講義と炭焼き体験を行いました。

最初に「伏せ焼き」2箇所と「ドラム缶窯」2箇所に

分かれ、各窯の火入れを行い窯が安定した後、先生の講義を受け、講義終了後に窯閉めの手順の説明、飾り炭を作る「花炭」を体験しま



間伐作業



カレッジⅣ 谷田貝先生



炭焼き作業

した。受講生からは、「炭のパワーと魅力を学べた」「樹木の持つ不思議な力が理解できた」など好評でした。炭焼き体験終了後に、所長から終了証を交付し、今年度の森林カレッジを終了しました。

参加者からは、「森林の大切さを考えさせられた」などの意見をいただき、森林・林業への理解を深めることができましたと考えています。

今月の表紙  
「平成28年度磐城森林管理署  
列状間伐現地検討会」

磐城森林管理署では、森林整備事業の低コスト化の一環として期待される列状間伐の地域での普及・定着の推進に向けて、取り組んでいるところです。

今回、列状間伐の導入等について地域の林業関係者等と幅広く意見交換を行うことを目的に、いわき市田人町風越国有林内で列状間伐に係る現地検討会を平成29年1月11日に開催しました。

福島県、市町村、森林組合、林業事業者から関係者の出席を頂き、活発な意見交換が行われ、列状間伐の定着のためには、くり返しこのような検討会の開催を希望する声がありました。



# 森づくり最前線

静岡森林管理署 上井出森林事務所 森林官 氏原 稔允

私の勤務する上井出森林事務所管内は、富士山の静岡県側標高800m～3200mに位置し、約5100畝を有しています。

管内には80年生のヒノキ一斉人工林が500畝以上あり伐期を迎えていることから、「再生林の低コスト化」「溪畔保護樹帯の育成」「効率的なニホンジカ捕獲」の三つを柱として森林施策を行うプロジェクトが行われています

### ○再生林の低コスト化

地拵時に機械を利用して枝条を伐採地をとり囲むように配置する枝条柵を試験的に設置したり、平成29年度の植付でコンテナ苗・ポット苗・裸苗の比較植栽を行うこととしてい



枝条柵

ます。まだ試験的な事が多いので今後どのような結果がでるのか見守っていただくこととしています。

### ○溪畔保護樹帯の育成

広葉樹を主体とした溪畔林を育成するため、溪畔周辺では択伐を行い富士山国有林内で広葉樹の実生を採取して種苗組合で栽培、育成してから植付を行っています。

### ○効率的なニホンジカ捕獲

富士山地域でシカの生息密度が増しているため、富士山地区有害鳥獣捕獲請負事業を実施しており、誘引捕獲、忍び猟、くくり罠の三つの方法により捕獲を実施しています。



コンテナ苗



溪畔林

平成28年度は事業実行中ですが、平成27年度は誘引捕獲191頭、忍び猟136頭、くくり罠14頭の計341頭捕獲しています。

また、シカ柵を用いてシカをシカ柵とシカ柵の間の溪畔保護樹帯に誘導し、ワナを仕掛けることも検討しています。

また、管内は事業も多く、地拵・植付・忌避剤散布・下刈・シカ柵・除草工・立木販売・製品生産と、植付から皆伐までの森づくりを体験でき業務量があります。が勉強になり、やりがいのある職場だと思っています。



国有林からの富士山

当事務所からは、富士山が間近で綺麗に見え、今の季節ならではの雪をかぶったこれぞ富士山！という景色を見て癒やされます。

皆様も新東名を通る際には富士山が正面に見えますので、ここも国有林（八合目まで。それより上は浅間大社の土地です）だと覚えておいていただければ光栄です。

発行所 関東森林管理局  
編集総務課  
TEL(057) 210-1158  
FAX(057) 230-1393